

エコアクション21
平成28年度版
環境活動レポート

《活動期間 平成 28 年 5 月～平成 29 年 4 月》

株式会社 リサイクルクリーン

都田太陽光発電所



経営理念

リサイクルクリーンは、顧客満足、順法の精神、資源を守る心を誇りにし、あらゆる環境変化のなかで常に進化し続ける企業集団を目指します。

- ・ 顧客満足

常にお客様が喜んでくれるサービスを考え提供し続ける。

- ・ 遵法の精神

関係法令を遵守する。法律に背かない。

- ・ 資源を守る心

循環型社会構築へ向けて、リサイクル率の向上。

埋立、単純焼却の廃止

- ・ 常に進化し続ける企業集団

あらゆる変化に柔軟に対応する。

全社員が共に学習し、自らの能力を発揮する。

＜制定日 平成17年5月1日＞

静岡県浜松市天竜区二俣町二俣41

株式会社 リサイクルクリーン

代表取締役 藤城 太郎

1 組織の概要

① 会社概要

会社名 株式会社 リサイクルクリーン
 代表取締役 藤城 太郎
 本社所在地 〒431-3314
 静岡県浜松市天竜区二俣町二俣 41
 TEL 053-925-1366 FAX 053-925-6030
 HP <http://www.recycle-clean.co.jp>

環境管理責任者 取締役品質保証部長 栗田 秀男

本部事務局長 事務部長 藤見 正幸

連絡先 TEL 053-925-1366 FAX 053-925-6030



② 事業の概要

事業内容 一般廃棄物（市町村委託、事業系）の収集運搬業、産業廃棄物の収集運搬・中間処理、RPF 固形燃料の製造業、不動産の売買・仲介及び賃貸業、建築工事・土木工事・建物解体工事業、再生資源卸売業、清掃業、再生骨材の販売、自動車小売業、損害保険代理業

設立 昭和 62 年(1987 年)3 月 27 日

資本金 8,200 万円

年間売上 52 億円(平成 29 年度)

従業員 305 名(平成 29 年 5 月現在)

敷地面積(全社) 61,313 m²

延床面積(全社) 18,330 m²

③ 事業規模

廃棄物処理量	一般廃棄物収集運搬量	4,585t/年(平成 28 年度)
	産業廃棄物収集運搬量	75,160t/年(平成 28 年度)
	感染性廃棄物収集運搬量	28t/年(平成 28 年度)
	産業廃棄物中間処分量	82,810t/年(平成 28 年度)

優良産廃業者に認定されました

産業廃棄物収集運搬業（静岡県）平成 27 年 12 月 2 日

産業廃棄物処分業（静岡県） 平成 27 年 10 月 13 日

産業廃棄物処分業（浜松市） 平成 27 年 10 月 9 日

④ 許可及び届出一覧

A 事業の範囲 (許可行政区域、許可番号、有効期限)

表4-1

許可種類	県・市・町名	許可番号	許可年月日	有効期限
産業廃棄物処分業	静岡県	02221000340	H27.10.13	H34.10.12
	浜松市	06321000340	H27.10.9	H34.10.8
産業廃棄物収集運搬業	静岡県	02202000340	H27.12.2	H34.12.1
	愛知県	02300000340	H27.5.19	H32.5.18
	三重県	02400000340	H28.11.17	H33.11.16
	富山市	08500000340	H25.9.17	H30.9.16
	福井県	01801000340	H29. 6.8	H34. 6. 7
特別管理産業廃棄物 収集運搬業	静岡県	02252000340	H27.12. 2	H34.12.1
	愛知県	02352000340	H285.12	H33.5.11
一般廃棄物収集運搬業	浜松市	第33号	H29.4.1	H31.3.31
	磐田市	第10-01-008号	H28.4.1	H30.3.31
	袋井市	袋井市指令環第691号	H28.4.1	H30.3.31
	掛川市	掛環ご許可第31号	H279.22	H299.21
	御前崎市	御市環許可第21-13号	H28.1.27	H30.1.28
	藤枝市	藤環指第15号	H28.4.1	H30.3.31
	森町	森生還許可第10号	H28.4.1	H30.3.31

B 産業廃棄物処分業(中間処理)詳細

表4-2

C 産業廃棄物処理能力一覧表

表4-3

事業所	施設	品目(廃棄物の種類) 単位t/日								
		廃プラ	紙屑	木屑	繊維	金属	ガラ陶	がれき	ゴム屑	汚泥
第一	圧縮					33.48				
	破碎	4.2	2.94	4.64		6.99	18.14	4.97		
	破碎						17.6			
第二	破碎	4.78	5.13	8.19	13.6	12.56	39.49	15.01		
大川	圧縮	107.68	116.8		116.8					
	破碎	68.9	137.8	160.8	137.8	459.4	344.6	413.5		
	溶融固化	26.2	28.1	24.7	27.6					
浜北	圧縮	148.16	97.68	87.44	79.44					
	破碎	3.18	2.68	3.62	4.89	4.56	3.8	3.8		
桜台	破碎	24.5	8.0	23.8	5.7	45.2	69.8	95.2		
	破碎・成形	11.68	0.8	0.64	2.4				0.48	
磐田	破碎							256.0		
	改質固化									9.93
岡部	圧縮	148.16	97.68	95.2	87.44	79.44				
	破碎	45.7	45.7	70.6	95.5	124.6	207.6	481.6		
	破碎	3.85	3.24	4.12	5.15	5.34	10.86			
袋井	圧縮	148.16	97.68		87.44	79.44				
	破碎	69.3	69.3	107.0	144.8	188.9	314.8	730.3		
	破碎	21.7	30.4	63.8	36.4	59.3	138.3	229.2		
	溶融固化	0.33								
	切断	3.84			7.68					
袋井 RPF	固形燃料製造	169.92	168.24	168.48	168.48					

D 登録車両台数表(利用目的別車両保有台数一覧)

表4-4

車体の形状	積載量	登録台数	使用制限
キャブオーバ (ユニック車)	10トン	1台	なし
	6トン	7台	なし
	4トン	33台	なし
キャブオーバ (平ボディ車)	2~4トン	5台	なし
脱着装置付コンテナ専用車 (Fロール車)	10トン	5台	なし
	4トン	26台	なし
	2トン	4台	なし
ダンプ	10トン	3台	なし
	4~6トン	1台	なし
	2トン	3台	なし
塵芥車(パッカー)	2~4トン	10台	なし
冷蔵冷凍車	2トン	1台	なし
ステーションワゴン他 (営業車)		19台	なし

E 行政区域別収集運搬取扱品目一覧

表4-5

許可品目	静岡県	愛知県	三重県	福井県	富山市	浜松市	磐田市	袋井市	森町	掛川市	御前崎市	藤枝市
一般廃棄物						●	●	●	●	●	●	●
廃プラスチック類	●	●		●	●							
紙くず	●	●		●								
木くず	●	●		●								
金属くず	●	●										
ガラス・コンクリートくず磁器くず	●	●	●									
がれき類	●	●										
繊維くず	●	●		●								
燃え殻	●					●						
汚泥	●											
廃油	●											
廃酸	●											
廃アルカリ	●											
動植物性残さ	●											
鉱さい	●											
ばいじん	●											
ゴムくず	●											
感染性産業廃棄物	●	●										
引火性廃油	●											

TOPIC

都田町・袋井新工場に太陽光パネル、順調に稼働中



発電量、二酸化炭素削減量は当社ホームページにて、リアルタイムでご覧いただけます
ご来訪をお待ちしております。

<http://www.recycle-clean.co.jp/>

2 対象範囲、レポートの対象期間及び発行日

① 対象事業所別概要

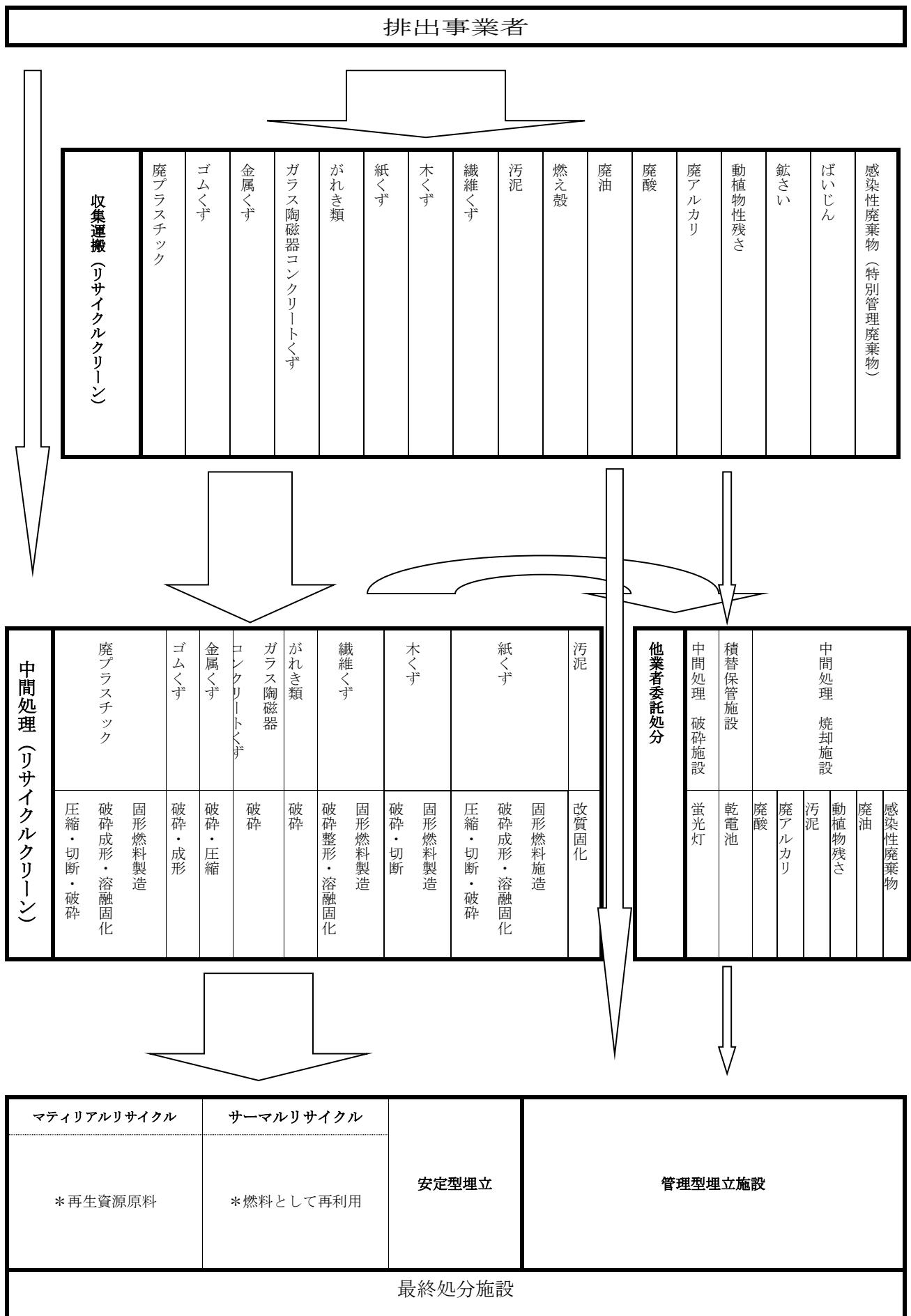
第一工場 〒431-3314 静岡県浜松市天竜区二俣町二俣 42-1 敷地面積 5,164 m ² 延床面積 1,105 m ² 従業員数 30名 所属車両台数 13台 廃棄物処理量 1,911t/年(平成 27 年度) 処分方法:破碎、圧縮
第二工場 〒431-3314 静岡県浜松市天竜区二俣町二俣 20-1 敷地面積 2,693 m ² 延床面積 132 m ² 従業員数 8名 廃棄物処理量 2,548t/年(平成 27 年度) 処分方法:破碎
大川工場 〒431-3755 静岡県浜松市天竜区大川 458-4 敷地面積 5,074 m ² 延床面積 2,759 m ² 従業員数 63名 所属車両台数 53台 廃棄物処理量 14,025t/年(平成 27 年度) 処分方法:破碎、圧縮、溶融固化 *RPF生産工場
浜北工場 〒434-0011 静岡県浜松市浜北区上島 2345-388 敷地面積 2,574 m ² 延床面積 1,756 m ² 従業員数 2名 廃棄物処理量 175t/年(平成 27 年度) 処分方法:破碎、圧縮
磐田工場 〒438-0002 静岡県磐田市大久保 729-1 敷地面積 6,580 m ² 延床面積 — 従業員数 8名 所属車両台数 3台 廃棄物処理量 15,341t/年(平成 27 年度) 処分方法:破碎、改質固化
岡部工場 〒421-1102 静岡県藤枝市岡部町宮島 963 敷地面積 9,606 m ² 延床面積 3,250 m ² 従業員数 34名 所属車両台数 14台 廃棄物処理量 8,378t/年(平成 26 年度) 処分方法:破碎、圧縮
袋井工場 〒437-0011 静岡県袋井市村松 1567-1 敷地面積 21,399 m ² 延床面積 4,711 m ² 従業員数 36名 所属車両台数 14台 廃棄物処理量 20,828t/年(平成 27 年度) 処分方法:破碎、圧縮、切断、溶融固化
袋井 RPF 工場 〒437-0011 静岡県袋井市村松 1567-1 延床面積 1853 m ² (袋井工場敷地内に新設) 従業員数 8名 廃棄物処理量 1,035t/年(平成 27 年度) 処理方法:固形燃料製造(破碎、圧縮固化)
桜台工場 〒431-1104 静岡県浜松市西区桜台 5-9-16 敷地面積 6,260 m ² 延床面積 2,250 m ² 従業員数 29名 所属車両台数 12台 廃棄物処理量 7,878t/年(平成 26 年度) 処分方法:破碎、破碎・成形 *RPF生産工場
浜松営業所 〒431-3115 静岡県浜松市東区西ヶ崎 1001-1 敷地面積 3,280 m ² 延床面積 1,802 m ² 従業員数 24名 所属車両台数 19台 一般廃棄物収集運搬 4,399t/年(平成 27 年度) ダンボール等リサイクル資源物の収集
協同センター 〒434-0015 静岡県浜松市浜北区於呂 4000-1 敷地面積 1.366.7 m ² 従業員数 3名 所属車両台数 1台 新車中古車販売、買取、車検、点検、板金、損保代理店
管理・不動産部 〒431-3314 静岡県浜松市天竜区二俣町二俣 1056-1 敷地面積 144.53 m ² 従業員数 2名 所属車両台数 1台 不動産取引各種、賃貸アパート管理
本社(営業部、事務部) 〒431-1103 静岡県浜松市天竜区二俣町二俣 41 従業員数 54名 所属車両台数 27台

② レポート対象期間及び発効日

対象期間 平成 28 年 5 月 1 日～平成 29 年 4 月 30 日 発行日 平成 29 年 7 月 10 日

④ 産業廃棄物処理工程図

图 4-1



3 環境方針



当社は、静岡県の企業及び市町村等を中心に多数の顧客を有し、一般廃棄物、産業廃棄物の収集運搬・中間処理及びリサイクル関連事業を営んでいます。これらの活動を行う企業として、「地球環境の保全」が人類共通の課題であることを認識し、企業活動のあらゆる面で「地球環境保護」に配慮した事業活動を展開します。

- 1 事業活動に係わる環境影響を認識し、技術的・経済的に可能な範囲で環境目標及び環境活動計画を定め、環境汚染の予防を推進するとともに、環境マネジメントシステムの継続的改善を図る
- 2 環境関連法規及び当社が同意したその他の要求事項を遵守するとともに、必要に応じて自主管理基準を設定し、維持管理を行う。
- 3 当社は、環境方針を達成するために、「守ろう環境、生かそう資源のリサイクル」をスローガンに、事業活動が与える環境影響の中で、次の項目を重点に環境マネジメント活動を行い、定期的に見直しを実施する。
 - 1) 事業活動で生じる二酸化炭素排出量及び水使用量の削減に取り組みます。
 - ・ 省エネ、省資源活動を推進します。
 - 2) 循環型社会構築に寄与する為、受託した廃棄物の再資源化に取り組み、リサイクル率向上に努めます。数値目標を定め、継続的改善を図り、その結果を開示いたします。
 - 3) 地域環境保全に有効な、森林保護育成を目指し、ボランティア活動を実践します。
4. 環境教育の充実を図り、全員参加で取組む。(全従業員及び当社のために働く全ての人に環境方針を周知する)
5. 周辺美化運動等により地域環境保全活動に積極的に取組み、住民とのコミュニケーションを大切にする。

制定日平成 23 年 5 月 1 日

改訂日平成 26 年 5 月 23 日

改定日平成 29 年 5 月 1 日

株式会社リサイクルクリーン

代表取締役 藤城 太郎

実施体制

当社はエコアクション21環境経営システムを構築、運用、維持し、環境への取組を実施するために効果的な実施体制を構築する。実施体制は「(株)リサイクルクリーン エコアクション21 組織図」に示し、各自の役割、責任及び権限を定め全従業員に周知する。

*社長

- ① 環境方針を策定する。
- ② 責任者を選任するとともに、各要員、所定の技能・技術、資金の経営資源を確保する。
- ③ エコアクション21環境経営システム推進体制を策定する。
- ④ 環境経営システムの見直しを行う。
- ⑤ 緊急事態発生時における対応処理の統括的な指揮をとる。
- ⑥ 「環境マネジメントマニュアル」、「全社環境目標」、「全社/部門活動計画」を承認する。
- ⑦ 「全社環境目標」、「全社/部門環境活動計画」の定期策定、見直しを指示し承認する。
- ⑧ 内部監査チームリーダー/内部監査委員を任命し、内部環境監査の実施を指示する。

*環境管理責任者（副環境管理責任者）

- ① エコアクション21:2009年版（産業廃棄物処理業者向けガイドライン）規格の要求事項に適合した環境経営システムを確立、実施、維持及び管理を行う。
- ② 見直し及び環境経営システムの改善の基礎として、社長に環境経営システムの実績を報告する（全社エコアクション21推進会議を毎月一回開催する）。
- ③ 「環境への負荷の自己チェック」を策定する。
- ④ 「環境への取組の自己チェック」を策定する。
- ⑤ 「法規制等登録一覧」を策定する。
- ⑥ 「全社環境目標」及び「全社環境活動計画」を策定し、達成の責任を持つとともに、その項目の監視、測定及び不適合の場合の是正及び予防処理を行う。
- ⑦ 部門長が策定した部門の「部門環境活動計画」を審査する。
- ⑧ 社内外のコミュニケーションの統括的な責任を負う。
- ⑨ 「環境マネジメントマニュアル」を作成するとともに、環境経営システムの各文書の整備を指示する
- ⑩ 関連会社への周知、協力の要請等を行う。
- ⑪ 緊急事態発生時における対応処置の指揮をとる。（社長が不在の時は、責任者が代行する）。
- ⑫ 全社に係る環境教育訓練の計画立案及び管理者教育を実施する。

*本部事務局長（副本部事務局長）

- ① 環境経営システム文書の作成、管理を行う。
- ② 環境経営システムの構築及び維持管理に関する事務局、並びに責任者の補佐を行う。
- ③ 「全社エコアクション21推進会議議事録」を作成する。

*部門長

- ① 責任者が策定する「環境への負荷の自己チェック」の調査に協力する。
- ② 責任者が策定する「環境への取組の自己チェック」の調査に協力する。
- ③ 環境関連法規等の対応を実施する。
- ④ 「部門環境活動計画」を策定し、達成の責任を持つとともに、その項目の監視、測定及び不適合の場合の是正及び予防処置を行う。
- ⑤ 部門エコアクション推進会議を月一回開催する。

- ⑥ 環境に関する一般教育（新入社員教育を含む）の計画立案及び教育を実施する。
- ⑦ 緊急事態への準備及び対応並びに緊急事態発生時における対応処置の指揮をとる。

*内部環境監査チームリーダー（略称：内部環境監査 TL）

- ① 内部監査実施計画を作成し、社長の承認を得る。
- ② 内部監査結果を社長に報告する。
- ③ 指摘事項の是正処置結果を確認する。
- ④ 推進会議にて監査結果を報告する。

*内部監査員

- ① 内部環境監査 TL の指示に従い、「内部環境監査チェックリスト」に基づいて、監査を行う。

*部門事務局リーダー（兼副部門長）

- ① 部門長を代行し、部門の環境経営システムを推進する。
- ② 緊急事態発生時における対応処置の指揮をとる。（部門長不在時は代行する）。

*部門事務局サブリーダー

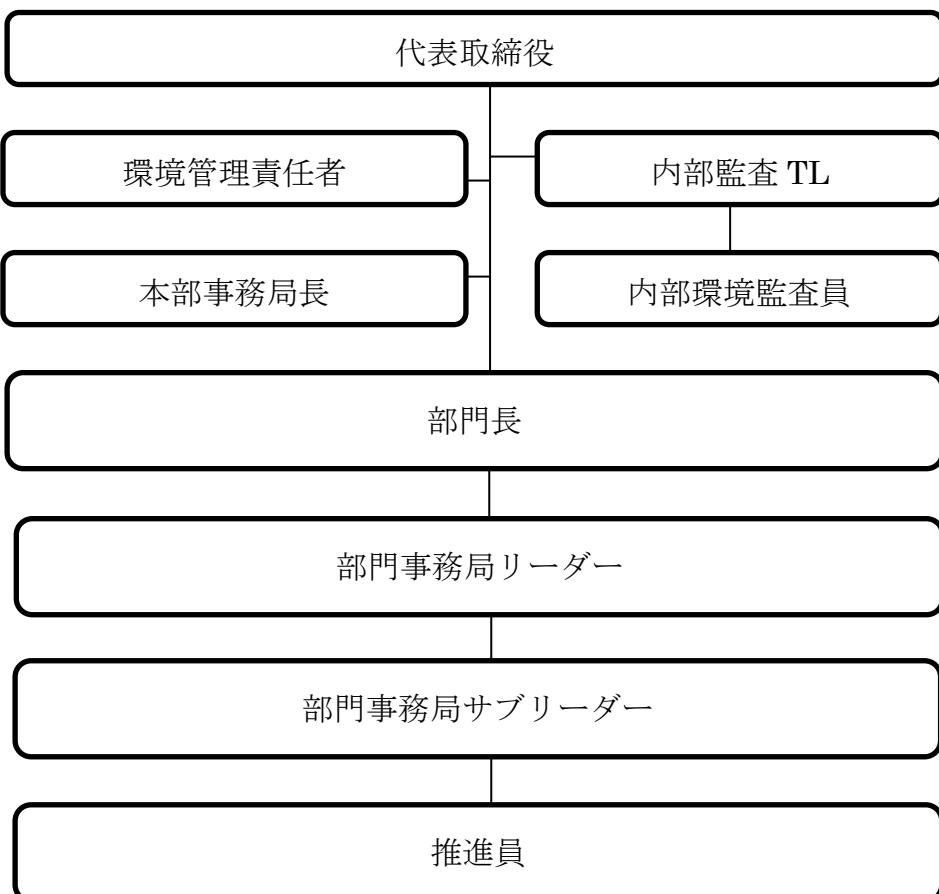
- ① 部門事務局リーダーを補佐し、部門の環境経営システムを推進する。
- ② 部門エコアクション21推進会議の議事録を作成する。

*推進員

- ① 部門の環境経営システムを推進する。

エコアクション組織図

H28.5.1



4 環境目標

環境活動数値の中期 3 カ年目標①

◆項目の用語について◆

- ① 電気使用率 → 廃棄物出荷量1m³に対する電気使用量(工場が対象)
- ② ガソリン燃費 → 燃料1リットルあたりの車両の走行距離
- ③ 軽油燃費(車両) → 燃料1リットルあたりの車両の走行距離
- ④ 軽油燃費(重機) → 燃料1リットルあたりの重機の稼働時間

事業所	項目	平成 29 年度目標		平成 30 年度目標		平成 31 年度目標	
全社	電気使用量(事務所)	82,962	kwh	82,132	kwh	81,311	kwh
	電気使用率(工場)	8.43	kWh/m3	8.35	kWh/m3	8.26	kWh/m3
	ガソリン燃費	19.7	Km/L	19.8	Km/L	19.9	Km/L
	軽油燃費(車両)	5.04	Km/L	5.05	Km/L	5.06	Km/L
	軽油燃費(重機)	0.15	h/L	0.15	h/L	0.15	h/L
	LPG使用量	247	m3	244	m3	242	m3
	CO2 排出量	6,389,233	kg	6,382,844	kg	6,376,455	kg
	水使用量	9,242	m3	9,238	m3	9,224	m3
	リサイクル率	88.0	%	88.0	%	88.0	%
営業・事務	森林保護活動	2	回	2	回	2	回
	電気使用量	45,603	kwh	45,147	kwh	45,696	kwh
	ガソリン燃費	20.0	Km/L	20.1	Km/L	20.2	Km/L
	LPG使用量	32.5	m3	32.0	m3	31.5	m3
第一工場	CO2排出量	96,150	kg	95,669	kg	95,191	kg
	電気使用率	2.45	kWh/m3	2.42	kWh/m3	2.40	kWh/m3
	軽油燃費(車両)	4.1	Km/L	4.1	Km/L	4.2	Km/L
	軽油燃費(重機)	0.19	h/L	0.19	h/L	0.19	h/L
	CO2排出量	586,030	kg	586,617	kg	586,029	kg
	水使用量	955	m3	945	m3	936	m3
第二工場	リサイクル率	88.0	%	88.0	%	88.0	%
	電気使用率	2.14	kWh/m3	2.13	kWh/m3	2.12	kWh/m3
	軽油燃費(重機)	0.19	h/L	0.19	h/L	0.19	h/L
	LPG使用量	1.8	m3	1.8	m3	1.8	m3
	CO2排出量	79,122	kg	79,043	kg	78,964	kg
	水使用量	750	m3	743	m3	735	m3
大川工場	リサイクル率	88.0	%	88.0	%	88.0	%
	電気使用率	12.21	kWh/m3	1212	kWh/m3	12.02	kWh/m3
	軽油燃費(車両)	6.7	Km/L	6.7	Km/L	6.8	Km/L
	軽油燃費(重機)	0.16	h/L	0.16	h/L	0.16	h/L
	LPG使用量	14.5	m3	14.0	m3	13.5	m3
	CO2排出量	813,088	kg	812,275	kg	811,463	kg
	リサイクル率	88.0	%	88.0	%	88.0	%

環境活動数値の中期 3 カ年目標②

事業所	項目	平成 29 年度目標		平成 30 年度目標		平成 31 年度目標	
浜北工場	電気使用率	16.18	kWh/m3	16.02	kWh/m3	15.90	kWh/m3
	軽油燃費(重機)	0.33	h/L	0.33	h/L	0.33	h/L
	LPG使用量	1.2	m3	1.2	m3	1.2	m3
	CO2排出量	35,639	kg	35,603	kg	35,568	kg
	水使用量	64	m3	64	m3	63	m3
	リサイクル率	88.0	%	88.0	%	88.0	%
岡部工場	電気使用率	9.40	kWh/m3	9.35	kWh/m3	9.30	kWh/m3
	軽油燃費(車両)	6.2	Km/L	6.2	Km/L	6.3	Km/L
	軽油燃費(重機)	0.14	h/L	0.14	h/L	0.14	h/L
	LPG使用量	16.2	m3	16.0	m3	15.8	m3
	CO2排出量	444,374	kg	443,930	kg	443,486	kg
	リサイクル率	88.0	%	88.0	%	88.0	%
袋井工場	電気使用率	13.5	kWh/m3	13.3	kWh/m3	13.1	kWh/m3
	軽油燃費(車両)	5.2	Km/L	5.2	Km/L	5.2	Km/L
	軽油燃費(重機)	0.14	h/L	0.14	h/L	0.14	h/L
	LPG使用量	49	m3	48	m3	48	m3
	CO2排出量	845,967	kg	845,121	kg	844,276	kg
	水使用量	985	m3	976	m3	967	m3
袋井RPF工場	電気使用率	210	kWh/m3	208	kWh/m3	207	kWh/m3
	軽油燃費(重機)	0.09	h/L	0.09	h/L	0.09	h/L
	LPG 使用量	26	m3	26	m3	25	m3
	CO2 排出量	2,235,479	kg	2,233,244	kg	2,231,010	kg
	水使用量	6,020	m3	5,959	m3	5,900	m3
	リサイクル率	88.0	%	88.0	%	88.0	%
桜台工場	電気使用率	14.0	kWh/m3	14.0	kWh/m3	13.9	kWh/m3
	軽油燃費(車両)	5.7	Km/L	5.7	Km/L	5.8	Km/L
	軽油燃費(重機)	0.22	h/L	0.22	h/L	0.22	h/L
	LPG 使用量	78.5	m3	77.7	m3	77.0	m3
	CO2 排出量	486,861	kg	486,374	kg	485,888	kg
	水使用量	515	m3	510	m3	505	m3
浜松営業所	リサイクル率	88.0	%	88.0	%	88.0	%
	電気使用率	18.2	kWh/m3	18.1	kWh/m3	18.1	kWh/m3
	軽油燃費(車両)	4.18	Km/L	4.19	Km/L	4.19	Km/L
	軽油燃費(重機)	0.24	h/L	0.24	h/L	0.24	h/L
	LPG使用量	14.2	m3	14.2	m3	14.1	m3
	CO2 排出量	410,468	kg	410,058	kg	409,648	kg
	水使用量	282	m3	281	m3	280	m3

環境活動数値の中期 3 カ年目標③

事業所	項目	平成 29 年度目標		平成 30 年度目標		平成 31 年度目標	
協同センター	電気使用量	22,269	kwh	22,046	kwh	21,826	kwh
	軽油燃費(車両)	8.2	Km/L	8.2	Km/L	8.2	Km/L
	CO2 排出量	11,343	kg	11,332	kg	11,320	kg
	水使用量	48	m3	48	m3	47	m3
不動産部	電気使用量	16,317	kwh	16,154	kwh	15,993	kwh
	ガソリン使用量	14.7	L	14.7	L	14.7	L
	CO2 排出量	11,910	kg	11,898	kg	118,862	kg
	水使用量	20	m3	20	m3	20	m3
磐田工場	電気使用率	3.14	kWh/m3	3.14	kWh/m3	3.13	kWh/m3
	軽油燃費(車両)	2.65	Km/L	3.65	Km/L	2.64	Km/L
	軽油燃費(重機)	0.09	kwh	0.09	h/L	0.09	h/L
	LPG使用量	11.6	m3	11.6	m3	11.5	m3
	CO2 排出量	333,651	kg	333,317	kg	332,974	kg
	水使用量	972	m3	970	m3	968	m3

<二酸化炭素排出量算出係数>

電気→0.486(kg-CO2/kWh) ←(株)中部電力平成 27 年度調整後排出係数

ガソリン→2.32199(kg-CO2/リットル) 軽油→2.62434(kg-CO2/リットル) LPG→6.214(kg-CO2/m3)

<環境事業紹介>

RPF(固体燃料) 桜台、大川、袋井工場で作成。 ・RPF 生産機・		フロン回収作業 ・桜台工場
 		
再生碎石作成・販売 ・磐田工場・	FRP(船舶)リサイクル ・袋井工場・	資源物回収 BOX ・各中間処理工場 浜松営業所・
		

5 環境活動計画の内容と取組結果の評価

環境活動計画の内容	評価	次年度
1 二酸化炭素総排出量の削減 ① 年費の向上 エコドライブの実践、 作業効率アップ。 ② 電力使用量の削減 日中の点灯照明削減。 残業の削減。 空調温度設定の適正化。	① アイドリングストップの実践 配車の工夫を実践 ② 日中の照明器点灯数を調整した 労務管理申請書の整備と運用に より残業時間の把握をした。 夏は 27°C 冬は 22°C に設定	継続 継続
2 廃棄物のリサイクル率向上と維持 ① 従業員のコスト意識の向上 埋立処分及び焼却処分原価の周知に より、原価意識の向上を図る。 ② 有価物の選別強化 選別ラインマニュアルの見直し。 人員配置の再考。 ③ リサイクル対象品の再確認 写真、実物などで具体的に対象品を示 すことで認知度を向上させる。	(目標 85%に対し実績 86.2%) ① リサイクル率の一覧表を作成し、 意識の向上に努めた。 ② 人事異動、役割変更を行い、適正 化を進めた。 ③ RPF 原料のパンフレット等を作成し 周知に努めた。	継続 継続 継続
3 総排水量の削減 ① 節水の呼びかけ。 ② 具体的な手段の計画	① 会議、朝礼等で呼びかけを行った	継続 継続
4 森林保護育成活動の推進 ① 育成活動実行計画策定 本年度実施計画、秋に1回、春に1回実 施する。 ② 参加の呼びかけ	① 年2回実施 17名参加 (春雨天の為幹事のみ参加) ② 朝礼、社内報等で周知。	継続 継続

6 環境活動数値の実績と評価①

* ○=計画通り ×=未達成

表6—1

事業所	項目	平成 28 年度目標		平成 28 年度実績		評価
全社	電気使用量	79,266	Kwh	81,696	kwh	×
	電気使用率	18.59	kwh/m3	20.23	kwh/m3	×
	ガソリン燃費	19.7	km/L	20.7	km/L	○
	軽油燃費(車両)	5.24	km/L	5.02	km/L	×
	軽油燃費(重機)	0.15	h/L	0.15	h/L	○
	LPG使用量	172	m3	230	m3	×
	CO2 排出量	5,605,541	kg	3,728,498	kg	×
	リサイクル率	85.0	%	86.2	%	○
	水使用量	8,980	m3	9,242	m3	×
本社	森林保護活動	2	回	2	回	○
	電気使用量	39,554	kwh	42,667	kwh	×
	ガソリン燃費	20.0	km/L	21.0	km/L	○
	LPG使用量	28.9	m3	31.5	m3	×
	CO2 排出量	86,814	kg	96,150	kg	×
第一工場	森林保護活動	2	回	2	回	○
	電力使用率	2.70	Kwh/m3	2.42	Kwh/m3	○
	軽油燃費(車両)	4.30	km/L	4.11	km/L	×
	軽油燃費(重機)	0.20	h/L	0.19	h/L	×
	CO2 排出量	456,482	kg	531,985	kg	×
	リサイクル率	85.0	%	77.5	%	×
	水道使用量	1,200	m3	955	m3	○
第二工場	森林保護活動	2	回	2	回	○
	電力使用率	1.51	Kwh/m3	1.48	Kwh/m3	○
	軽油燃費(重機)	0.16	h/L	0.18	h/L	○
	LPG使用量	1.4	m3	1.8	m3	×
	CO2 排出量	75,916	kg	79,122	kg	×
	リサイクル率	85.0	%	80.9	%	×
	水使用量	420	m3	341	m3	○
浜北工場	森林保護活動	2	回	2	回	○
	電力使用率	10.58	Kwh/m3	10.44	Kwh/m3	○
	軽油燃費(重機)	0.29	h/L	0.33	h/L	○
	LPG使用量	1.2	m3	1.2	m3	○
	CO2 排出量	37,046	kg	35,639	kg	○
	リサイクル率	85.0	%	79.1	%	×
	水道使用量	93	m3	63	m3	○
森林保護活動	2	回	2	回	○	

6 環境活動数値の実績と評価②

* ○=計画通り ×=未達成

表6-2

事業所	項目	平成 27 年度目標		平成 27 年度実績		評価
大川工場	電気使用率	4.70	Kwh/m3	4.63	Kwh/m3	○
	軽油燃費(車両)	7.00	km/L	6.65	km/L	×
	軽油燃費(重機)	0.16	h/L	0.16	h/L	○
	LPG使用量	18.5	m3	15.3	m3	○
	CO2排出量	808,342	kg	813,748	kg	×
	リサイクル率	85.0	%	69.9	%	×
	森林保護活動	2	回	2	回	○
磐田工場	電気使用率	1.93	Kwh/m3	2.11	Kwh/m3	×
	軽油燃費(車両)	2.86	km/L	2.70	km/L	×
	軽油燃費(重機)	0.08	h/L	0.09	h/L	×
	LPG使用量	2.4	m3	5.1	m3	×
	CO2排出量	327,073	kg	332,802	kg	×
	水道使用量	974	m3	702	m3	○
	森林保護活動	2	回	2	回	○
岡部工場	電気使用率	6.69	Kwh/m3	6.82	Kwh/m3	×
	軽油燃費(車両)	6.36	km/L	5.99	km/L	×
	軽油燃費(重機)	0.20	h/L	0.22	h/L	○
	LPG使用量	15.1	m3	20.2	m3	×
	CO2排出量	436,893	kg	444,242	kg	×
	リサイクル率	85.0	%	82.9	%	×
	森林保護活動	2	回	2	回	○
袋井工場	電力使用率	11.54	Kwh/m3	10.61	Kwh/m3	○
	軽油燃費(車両)	5.20	km/L	5.17	km/L	×
	軽油燃費(重機)	0.15	h/L	0.14	h/L	○
	LPG使用量	47.3	m3	48.9	m3	×
	CO2排出量	847,538	kg	845,967	kg	×
	リサイクル率	85.0	%	94.4	%	○
	水道使用量	528	m3	460	m3	○
袋井RPF工場	森林保護活動	2	回	2	回	○
	電気使用率		Kwh/t	183.87	Kwh/t	-
	軽油燃費(重機)		h/L	0.09	h/L	-
	LPG使用量		m3	27.1	m3	-
	CO2排出量		kg	2,235,479	kg	-
	リサイクル率		%	100	%	-
	水道使用量		m3	5,884	m3	-
森林保護活動			回	2	回	-

6 環境活動数値の実績と評価③

* ○=計画通り ×=未達成

表6-3

事業所	項目	平成 27 年度目標		平成 27 年度実績		評価
桜台工場	電気使用率	9.65	Kwh/m3	10.03	Kwh/m3	×
	軽油燃費(車両)	6.10	km/L	5.88	km/L	×
	軽油燃費(重機)	0.21	h/L	0.21	h/L	○
	LPG使用量	16.9	m3	64.6	m3	×
	CO2排出量	479,930	kg	486,861	kg	×
	リサイクル率	85.0	%	73.4	%	×
	水道使用量	442	m3	486	m3	×
	森林保護活動	2	回	2	回	○
浜松営業所	電気使用量	16.91	Kwh	17.37	Kwh	×
	軽油燃費(車両)	4.05	km/L	4.18	km/L	×
	軽油燃費(重機)	0.26	h/L	0.26	h/L	○
	LPG使用量	16.4	m3	14.2	m3	○
	CO2排出量	404,768	kg	410,468	kg	×
	水道使用量	420	m3	271	m3	○
	森林保護活動	2	回	2	回	○
協同センター	電気使用量	22,506	kwh	22,269	kwh	○
	軽油燃費	8.2	km/L	5.0	km/L	×
	CO2排出量	12,513	kg	11,343	kg	○
	水道使用量	75	m3	48	m3	○
	森林保護活動	2	回	2	回	○
不動産部	電気使用量	17,206	kwh	16,760	kwh	○
	ガソリン燃費	14.3	km/L	14.6	km/L	○
	CO2排出量	10,130	kg	11,910	kg	○
	水道使用量	28	m3	33	m3	×
	森林保護活動	2	回	2	回	○

<二酸化炭素排出量算出係数>

電気→0.497(kg-CO2/kWh) ←(株)中部電力平成 26 年度調整後排出係数

ガソリン→2.32199(kg-CO2/リットル) 軽油→2.62434(kg-CO2/リットル) LPG→6.214(kg-CO2/m3)

* 袋井 RPF 工場は初年度の為、目標値の設定を行わず、実績のみ掲載

8・環境関連法規への違反、訴訟等①

確認日 平成 29 年 5 月 30 日

対象環境関連法規	違 反	訴 訟
水質汚濁防止法(貯油タンク)	無	無
下水道法(第一、第二、桜台、浜松営業所)	無	無
浄化槽法(上記以外の事業所)	無	無
騒音規制法(コンプレッサー、集塵機)	無	無
振動規制法(コンプレッサー)	無	無
悪臭防止法	無	無
高圧ガス保安法(LPG 利用事業所)	無	無
消防法(貯油タンク、RPF、BDF 等)	無	無
PCB 特別措置法(第一、第二工場)	無	無
フロン回収破壊法(自動車解体部)	無	無
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	無	無
家電リサイクル法	無	無
建設リサイクル法	無	無
自動車リサイクル法	無	無
オフロード法	無	無
NOx、PM法	無	無

* 関係官庁、当局による違反等の指摘は、過去3年間ありません。

住民協定への違反、訴訟等確認日

確認日 平成 29 年 5 月 30 日

周辺住民、自治体等との協定		違 反	訴 訟
大川工場	天竜川水質保全に関する協定書(漁業組合)	無	無
岡部工場	環境保全協定書(藤枝市岡部町)	無	無
	町内会との協定書(藤枝市殿町)	無	無
	近隣地主との覚書	無	無
袋井工場	環境保全協定書(袋井市)	無	無
	自治会との協定書(袋井市村松西自治会)	無	無
桜台工場	環境保全協定書(和地地区自治会連合会)	無	無

* 地域住民との訴訟事件等は、過去3年間ありません。

9・代表者による全体の評価と見直しの結果(マネジメントレビュー)

平成 29 年 7 月 18 日

報告事項	報告内容
外部審査、内部監査の結果、法的要件事項及びその他の要件事項の順守評価の結果	<p>中間審査(平成 28 年 5 月 18 日)において、エコアクション 21 のガイドライン(2009 年版)に対して、不適合の指摘は無く、PDCL サイクルが適正との評価、但し、内部監査(平成 29 年 2 月 22 日)において、5S 活動に対し 12 件の改善の余地を指摘され、それに対してはすでに改善がなされた。</p> <p>関連法規では、新たに「水俣条約」の締結により「廃掃法」の改正が実施され、「水銀」の取り扱い規制が追加された。この件に関しては、営業会議で打合せ実施、今後、各部門会議にて周知。</p>
事故、苦情を含む外部の利害関係者からのコミュニケーション	<p>前回のマネジメントレビューからの顧客苦情 3 件は、ともに指導不足によるもので、反省点ばかりである。苦情に関して、即日対応及びその後の対応もできているが、再発防止策は確実なものにしていかなければいけない。現在、同様の苦情は発生しておらず、一定の成果は出ているものと判断する。日々の業務において発生する軽微な苦情に関しては、組織の改革を進めており、常に改善の名のもとに担当者各位が努力している。</p>
環境活動計画の達成状況	<p>環境活動に関しては、毎月の推進会議にて常に目標を意識し、改善提案をしているが、ポイントを的確にとらえ指示ができているか判断に苦しむときがある。しかし、部門長のコメントも含め改善に関してのポイントの見極めは各部門ともに確実に成長してきており継続することの必要性を実感している。燃費、リサイクル率、二酸化炭素の削減に関しては、車両、重機、設備等の更新も定期的にできており、さらなる改善を目標とする。</p>
本マネジメントシステムに影響のある変化している周囲の状況	<p>袋井 RPF 工場を審査対象事業所に追加し運営。5S 活動不足で、各工場の適正な運営に支障をきたしてしまったことについて、社内で「5S 委員会」を設置、活動いただき、感謝をしております。今後は、「エコアクション 21」の組織としても連動し、一層の推進をはかってゆきたいと考えます。「水銀使用製品廃棄物」に関しては、以前より適正処理を推進しており、今回の改正で戸惑う点はありません。</p>
変更の必要性	決定及び処置
環境方針 必要/不要	BDF の製造を終了したため、環境方針の条文の削除を指示。
環境目標 必要/不要	経営目標のリサイクル率については今季目標数値 88% に設定、(昨年実績の 86.2% に対し、1.8% アップ)。
EA21 のその他の要素 必要/不要	内部監査での指摘事項、(5S) は改善されているが、継続的に維持してゆくことを指示した。
【備考】	